



「旭北中学校・上白根中学校」 通学区域と学校規模適正化等 検討部会 ニュース

発行日：令和2年11月20日
発行元：検討部会 事務局
(横浜市教育委員会事務局学校計画課)

はじめに

現在、上白根中学校は、一般学級数が5学級（小規模校）となっており、横浜市で最も生徒数が少ない学校となっています。そのため、『旭北中学校・上白根中学校』通学区域と学校規模適正化等検討部会」において、隣接する旭北中学校との間で、上白根中学校の適正規模化に向けて具体的に検討しており、10月29日に第6回検討部会を開催しました。この部会での検討状況等については、本ニュースを発行し、両校の通学区域内にお住まいの皆さまや保護者の皆さまにお伝えしていきます。

第6回検討部会

日時：令和2年10月29日（木）
19時00分から
会場：ひかりが丘地域ケアプラザ1階



第6回検討部会での決定事項など

- 使用校舎及び通学区域（案）並びに学校名案の選定方法について説明しました。
- 次の2点について検討部会として決定しました。
 - ①統合校の使用校舎を現旭北中学校とすること。
 - ②統合校の通学区域は、旭北中学校と上白根中学校の通学区域を合わせた区域とすること。また、緑区三保町の一部の区域について、統合校を選択できる特別調整通学区域を引き続き設定すること。
- 統合校の学校名案の選定方法は、両中学校の生徒、両中学校通学区域の小学校の児童及びお住まいの方々から学校名案を公募することとなりました。
- 次回、第7回検討部会では、学校名案を決定し、また、検討部会の検討結果をとりまとめた意見書の内容について議論することとなりました。

1 統合校の使用校舎について

使用校舎を決めるにあたり、校舎の状況や両校の立地状況などを総合的に勘案する必要があります。

検討の結果、統合校の使用校舎を現旭北中学校とすることに決定しました。

(1) 統合校の推計等について（令和3年度以降を令和2年度義務教育人口推計による推計値に更新しました。）

学校名		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
上白根中	生徒数	112	111	113	112	97	81	75
	学級数	5※	4	4	4	4	3	3
旭北中	生徒数	458	441	431	457	436	434	396
	学級数	13	13	12	13	12	12	11
統合校	生徒数	—	—	—	569	533	515	471
	学級数	—	—	—	15(17)	14(15)	14(15)	14
	個別支援学級数	—	—	—	4	5	5	5
	学級数合計	—	—	—	19(21)	19(20)	19(20)	19

R2は5月1日時点の実数値（※は複式学級を実施）。

R3以降は令和2年度義務教育人口推計による推計値。

()は、その学年の生徒数に5名までの増加があった場合の学級数。

個別支援学級数は、両中学校の通学区域内の小学校からいただいた情報等から想定。

(2) 教室の使用状況（令和2年5月1日現在）

	上白根中学校	旭北中学校
保有教室	19CR	20CR
	【内訳】一般学級 5CR 個別支援学級 3CR 他用途に使用 11CR※	【内訳】一般学級 13CR 個別支援学級 2CR 他用途に使用 5CR※
	※ 生徒会室1、PTA会議室1、 教具室1、第二音楽室1、 少人数等教科指導7	※ 生徒会室1、会議室1、 学習相談室1、少人数等教科指導2

(3) 内部改修による教室数増設の余地（※両校長の聞き取りを基に、改修可能箇所を担当部署に確認。）

	上白根中学校	旭北中学校
最大教室数	21CR (保有教室19CR+内部改修2CR)	25CR (保有教室20CR+内部改修5CR)
内部改修内訳	視聴覚室 → 2CR	防災備蓄庫 → 1CR 視聴覚室 → 2CR 木工室 or 金工室 → 2CR
	合計 2CR	合計 5CR

(4) 両校施設の基礎情報

	上白根中学校	旭北中学校
特別教室	理科室1、音楽室1、美術室1 技術室1、家庭科室2、視聴覚室1 コンピューター室1、図書室1、教育相談室1	理科室1、音楽室1、美術室1 技術室2、家庭科室2、視聴覚室1 コンピューター室1、図書室1、教育相談室1
開校年度	昭和46年（50年目）	昭和59年（37年目）
親校	鶴ヶ峯中学校	上白根中学校
学校内の最古の棟 築年数	49年	36年
校地面積	15,029㎡	18,606㎡
グラウンド面積	7,938㎡	4,496㎡
体育施設	体育館1（グラウンド東側） 屋外プール1（グラウンド南東側）	体育館1（C棟2F） 屋外プール1（C棟2F） 武道場1（C棟1F）
体育館使用可能面積 （廊下等を除く）	約724㎡	約601㎡
プール面積	300㎡（25m×6レーン）	300㎡（25m×6レーン）
武道場面積		約359㎡
EVやスロープ 設置状況		スロープ

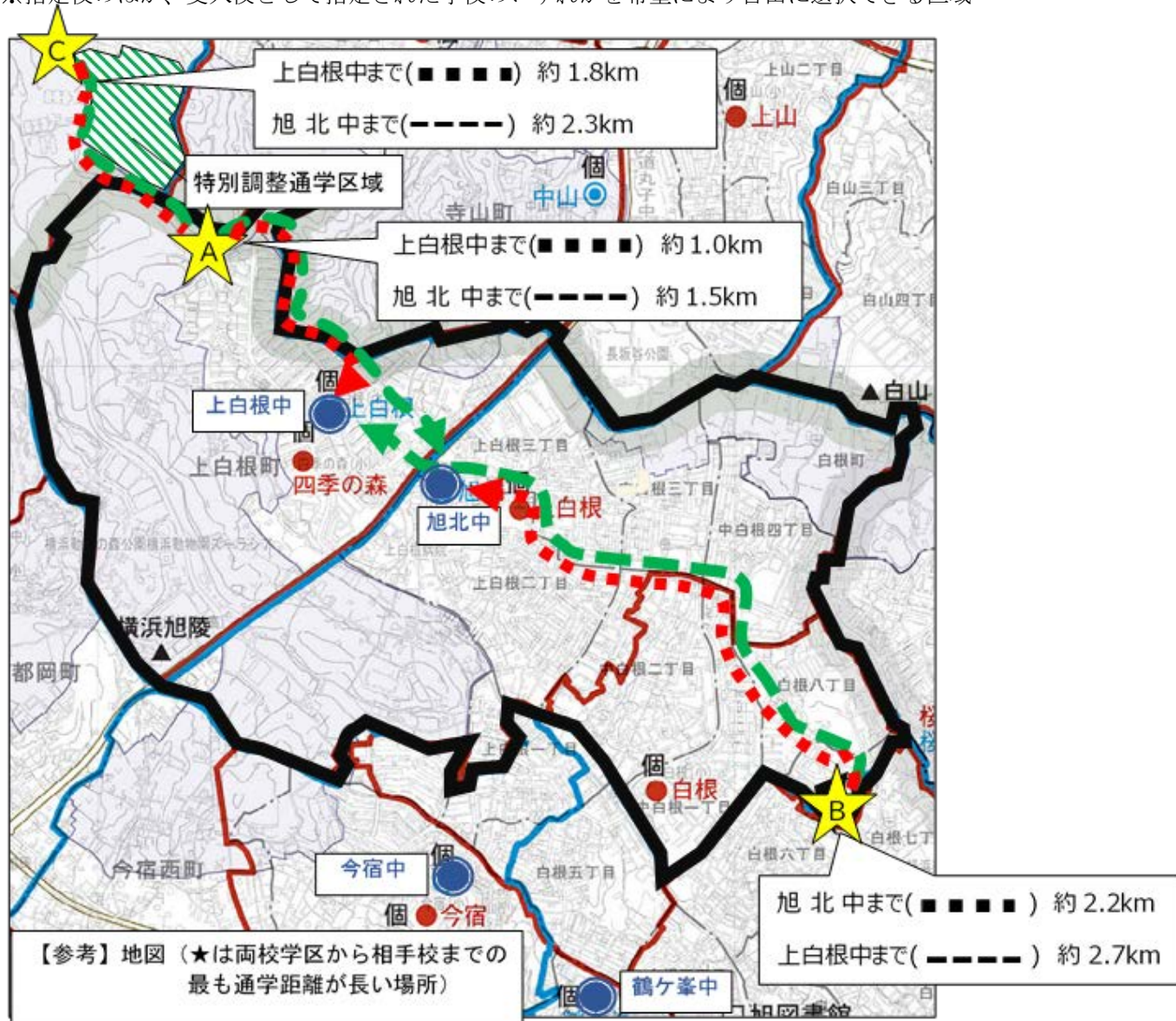
(5) 通学距離について

「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」では、適正な通学距離について、徒歩での通学を前提に、小学校では片道おおむね2km以内、中学校では片道おおむね3km以内と定めています。旭北中学校の校舎又は上白根中学校の校舎のどちらを使用する場合でも、片道おおむね3km以内となります。

2 通学区域（案）について

上白根中学校と旭北中学校の両校の通学区域を合わせた通学区域を基本とすることが望ましいとお伝えしました。検討の結果、統合校の通学区域は、旭北中学校と上白根中学校の通学区域を合わせた区域とすること。また、緑区三保町の一部の区域について、統合校を選択できる特別調整通学区域を引き続き設定することを検討部会として決定しました。

※指定校のほか、受入校として指定された学校のいずれかを希望により自由に選択できる区域



3 学校名案の選定方法について

統合校の学校名案の選定については、旭北中学校と上白根中学校の生徒などから公募する「公募方式」と、検討部会の委員のみで検討する「部会検討方式」がありますが、本部会では、「公募方式」を採用することになりました。公募結果を参考に次回の部会で学校名案を決定します。

【学校名案アンケート 実施概要】

公募方式	<p>(1) 旭北中学校、上白根中学校の生徒及び上白根小学校、白根小学校、四季の森小学校の児童には、学校から公募用紙を配付し、記入したうえで学校に提出していただきます。</p> <p>(2) 旭北中学校、上白根中学校の通学区域にお住まいの方及び保護者の方には、このニュースに挟み込む形で公募用紙を配付し、郵送、FAX、Eメールにより提出いただきます。 <u>(令和2年12月11日まで受付)。</u></p> <p>(3) 学校名案の公募結果を参考に、次回の第7回部会で学校名案を決定します。</p>
------	--

4 第5回検討部会以降に寄せられた意見及び質問

第6回部会（10月29日）までに寄せられた御意見・御質問が12件ありました。

- ◆旭北中学校と上白根中学校の統合に反対です。実際に通っている、これから通う子供達や保護者の意見は置き去りにされているように思います。なぜ、学区内の家庭に賛成・反対のアンケートを取らないのでしょうか。また、授業の荷物、部活の荷物、お弁当、水筒を持って、旭区の起伏の多い道を毎日、何分かけて通うのでしょうか。熱中症警戒アラートが出ていても子供達は何キロもある重たいカバンを持ち、毎日“歩いて”登校しています。子供達が安心、安全に学校に通えることを1番に考えていただきたいです。
- ◆現在、上白根中と四季の森小に子供を持つ保護者です。部活の時だけ上白根中のグラウンドを使えばいいという意見もありますが、顧問は必須です。先生は学校を空けて一緒に行けるのでしょうか？朝練や放課後にグラウンドが別なのは現実的ではないと思います。中央にあるから旭北中がいいという意見がありますが、どちらにしても規定の3キロ以内です。統合して人数が増えるなら、断然校庭の広い上白根中が最適と考えます。10年前にひかり小が廃校になり、また同じ地域に廃校ができると子供たちが今後地域が増えていくことは更に困難になります。もともとの在校人数が違うので、多数の生徒がというような判断は不公平です。安易な決断はしないでほしいです。
- ◆孫が旭北中に通っています。校舎は旭北中が良いです。上白根中学校になってしまうと中原街道を渡らなければいけないので心配です。
- ◆両方の中学校の保護者、生徒、これから統合時期に通うことになる小学校の保護者、子どもたち全員にアンケートを実施すべきです。私の意見ですが、統合校は真ん中を選択すべきではないかと思います。校舎が狭いグラウンドが狭いなどはどうでもいいです。とにかく遠くなるのは迷惑です。真ん中に位置する旭北中にすべきです。
- ◆私は上白根小に在学中の、旭北中の通学区域の子供を持つ母です。上白根中学校の生徒が、旭北中に通うことが最適なのではないかと考えます。上白根中に400人以上の中学生が通学することになれば、朝夕、特に交通量の多い中原街道を通行することになり、横断歩道や歩道も人だかりになってしまいます。上白根小学校には車椅子で学校生活を送っている児童もいて、旭北中にはバリアフリー設備や施設、校舎も介護施設仕様に作られています。子供たちの安全、未来を考え、より良い環境で中学校生活を送れるようにどうか子供たちの為の判断をお願いします。
- ◆旭北中と上白根小に子どもが通う保護者です。また私自身は上白根中の卒業生です。現在のひかりが丘地区の状況を見る限り、統合は仕方ないことだと思います。使用校舎を上白根中とすると白根小区域の方は通学距離がかなり遠くなり鶴ヶ峯中への編入を希望する人が増えると予想されます。今宿中についても同じです。せっきゃく統合しても現在の旭北中の生徒数も減ることになり、結果として将来的に統合後の中学校でも同じ問題が起きることが予想されます。両校の通学区域をそのままにして旭北中の校舎を使うことが最良の方法だと思います。
- ◆我が家は上白根小の学区の端にあり、今宿中の方が圧倒的に近い場所です。上白根中を使うとなったら、今宿中も選べる特別調整通学区域の設定をお願いします。ニュースに載っている地図を拝見すると、旭北中の方が真ん中にあると思います。在校生の人数を考えても、上白根中よりも旭北中の方が多く、旭北中の校舎を使ってもらいたいと思います。どちらの校舎かアンケートを取ってもらいたいです。
- ◆一番問題なのは、どちらの校舎を使用するかです。「通学」に関しては“全生徒”が毎日関わる事です。仮に使用校舎が上白根中になった場合、方や一番端が1 km。方や一番端が2.7 km。仮に使用校舎が旭北中になった場合、方や1.5 km。方や2.2 km。どちらの校舎を使えばいいかすぐ分かるじゃないですか？具体的に使用校舎に関して、何を議論し、何が決まらないのか教えてください。誰が会議に出席されているんですか？

- ◆使用校舎は、両通学区域の真ん中にある旭北中学校が良いと思います。白根小からは上白根中は通学距離が遠いです。特別調整通学区域を設定し、鶴ヶ峯中や今宿中という意見も出ていますが、そうことではありません。小学校4年生以上の子ども達と保護者にアンケートを取って欲しいです。
- ◆中学2年の時に統合する学年の子を持つ親です。もう統合が決まっているのですから、学校名や場所の前に共通の制服、ジャージを、今年の6年生から統一して対応していただきたいです。部活だけでも統合時に中3で残る、今年の6年生から合併や交流などで中1からどちらの中学校からも好きな部を選べるなど、通う子たちがいかにスムーズに統合後も学校生活をおくれるかに重点をおいていただきたいです。
- ◆上白根中学校と旭北中学校の統廃合は避けるのは困難であり、現実的には通学地域や校舎の築年数及び施設の内容などから、旭北中学校の校舎を利用することになるでしょう。そのことを前提に意見をお伝えしたいと思います。1. ひかりが丘団地交差点については、交差点の前後に赤白などの段差舗装を行い、信号機は歩車分離式を採用。また、鉄製のガードポールからガードレールへ変更。2. 統廃合後の学校名については、学校名は「上白根おもて中学校」が良いと思います。学校名の募集を行うには公募制が良いと思います。両校の通学地域の小学校の児童や両中学校の生徒はもちろんのこと、在住の地域住民も含め、地域全体で考える方が良いでしょう。3. 上白根中学校の活用方法については、ホテルなどの宿泊施設として活用する方法があると思います。近隣には大型の動物園がありますが、周辺には宿泊施設がありません。4. 意見の集め方については、大人ばかりで決めても、そもそも学校内の実情が分からないと思います。両校の卒業生を集め、経験上の話を集めるのも一つの判断材料になると思います。
- ◆地図でいうB地点に住んでいます。校舎を決める前に本当に子供が歩いて通えるのか、自らの足で確認して頂けたらと思います。また、上白根中学校の校舎になった場合、最終下校の時間など遠い家に住んでいる子たちを基準で設けていただきたいです。

※お寄せいただいた御意見等は、全て検討部会にて報告し、委員の皆様を検討していただいています。なお、紙面の都合上、掲載にあたっては抜粋しております。

5 主な発言や説明

(凡例 ☆：各委員からの主な発言 ⇒：事務局からの説明・回答)

⇒ (学校規模の適正化等に向けた資料について、事務局から説明しました。)

☆他の用途で使用している教室を使用して、必要となる21教室を確保するという説明が事務局からありましたが、教育上必要な教室は他にもあるかと思います。

☆学校運営の際に、必要となるのは少人数教室です。旭北中学校の場合は、少人数教室を2教室確保し、少人数学習のための教員が2人配置されております。少人数学習は、例えば英語授業の1クラスを2つに分けて、2人の教員が別々に指導することで、きめ細かい指導ができるという大きな利点があります。そのため、統合校においても、少人数教室は必要になると思います。また、例えば子ども達が一時的に相談や勉強などをすることができる教室も必要だと思います。

☆上白根中学校ですと、内部改修により、必要となる21教室を確保することはできますが、余剰教室はありません。そうすると、少人数教室や相談など何かあったときに、必要な教室がないということは否めないかと思います。例えばキャリア教育などで、余剰教室がないと活動に制約がでるなどの課題が出るかもしれません。また、中学校では学年毎にクラスを配置することがよくあるのですが、21教室全てを使用することになり、その配慮が難しいことにもなります。

☆校舎が古いとかは関係ないのではないかとこの話が前回ありましたが、上白根中は4階建て、旭北中が3階建てです。非常時の対応やバリアフリー化など、10年で進化しているのではないのでしょうか。また、団体の意見としては、まずは距離についてです。統合するのに、人数を減らしてしまっていないのかという点があり、新たな特別調整通学区域の設定については反対という意見です。また、緑区三保町の一部の特別調整通学区域の生徒はどうなるのかという話がありました。今回の資料で、旭北中学区の端の方から通っている子と通学距離がほとんど変わらないということで、是非来ていただけたらと思います。その他、中原街道について、400人前後の子が20分から30分の間に横断する、特に雨の日に傘をさしている状態はとても危険なのではないかとの意見です。人数的なことはという意見もありますが、100人の子が渡るのと400人の子が渡るのでは訳が違うのではないかと思います。それに関連して、先ほど、歩道の安全強化についての意見もありましたが、その点も併せて考えていただけたらと思いました。

☆両校とも教室数は足りそうですし、必要となる教室の改修が授業や学校生活に支障がないのであれば、どちらの校舎を使用しても大丈夫かと思えます。気になるのは登校時間と距離です。学校から遠い子は、再登校があると、一度家に帰って、短時間でご飯を食べてすぐに学校に行かなくてはいけないということがありそうで、距離が遠くなれば、さらに厳しくなります。また、真ん中にあるのは旭北中であること、影響が少ないほうと考えると、やはり総合的に考えて、旭北中を使用するのが良いと思います。

☆上白根中は、校舎の構造が非常にシンプルですし、非常時の避難についても階段が3つありますので、私としては子どもたちの安全を何より守ることができると思います。また、団体の意見として、旭北中は中央にあるという意見もありますが、どちらの校舎も通学可能な3km以内であること。グラウンドの大きい学校を移動なしで使うことができ、活動の幅が広がるのではないかと。また、部活の時だけ上白根中のグラウンドを使うという意見もありますが、顧問の先生がいることが条件となり、両校の校舎を使用することは困難であることなどの理由から、上白根中の方がいいのではないかと。意見です。

☆団体の中で意見を聞くと、多かったのは早く校舎を決めて欲しいという意見です。特に、これから入学を控えているお子さんを持つ親御さんからは、早く決めて、早く情報が欲しいということです。どんな部活があるのか。どんな活動ができるのか。状況によっては、違う学校を選択することも検討しなくてはならないので、とにかく早く決めて欲しいという意見を強くいただきました。

☆寄せられた意見・要望を見て、やはり保護者目線で物事を考えることが第一だと強く痛感しました。統合は決まったので、令和5年までの2年間で、いかに準備をうまくできるか、それが問題だと思います。また、先ほどの意見の中にも、制服やジャージを統合するのであれば統一してほしいとありました。そういった意見をもっと取り入れてあげていければ、保護者も納得してくれるのではないかと思います。

☆人数などの数字の面でみると、旭北中一本なのではないかと思えます。ただ、寄せられた意見にあったジャージや制服を早い段階で決めて、統合した時に、見た目を統一していただけると良いと思いますし、400人、100人ということではなく、100人でも安全に通える交通状況が整えばいいと思います。

☆意見に「不公平」というキーワードがあったと思います。この「不公平」を生徒に当てはめると、余裕のある教室を作ること、特に少人数教室や相談室などを確保できることが生徒にとっての「公平」になると思えました。子どもに対して不公平が無いようにするというのは、絶対的に教室を確保することができることなのだろうと。結論として、統合校の校舎は教室の確保ができる旭北中だと考えます。

☆私は最初から一貫して、統合校の校舎は上白根中が良いと思っております。相対的に見ても特別教室にしても何にしても、全く変わらない。中原街道の横断が危険だからダメというのは、話が違うのではないかと思います。特別教室や体育館の面積などを総合的に考えても、上白根中の方がいいと思います。

☆B地点から旭北中、上白根中まで歩きました。資料上、B地点から上白根中までの距離は2.7km34分となっています。お寄せられた意見に熱中症警戒アラートが出ている中では心配との意見がありましたが、毎日の登下校のことを考えると、緑区三保町の特別調整通学区域から旭北中まで2.3kmという距離であれば、旭北中学区の端の方と同じくらいの距離となるので旭北中の校舎を使っていたらいいと思います。また、校舎の余裕は旭北中の方があるというお話がありましたが、その点も含めて旭北中の校舎を使っていたらいいと思います。

☆どちらの学校も、広さなどの面からみても遜色はないと思いますが、通学のことを考えると、やはり交通量の多いところを渡ることは、100人渡るのと400人渡るのでは違うと思います。これはやはり人数の少ない方が安心だと思いますし、その点を踏まえて学校を決めていけばいいと思います。また、事務局に聞くことかと思いますが、私たちが考えるよりもアンケートなどで、どちらの校舎を使用するかという意見を通学することとなる御家庭に聞く必要があるのではないかと思います。

⇒アンケートを実施したとしても、旭北中学校の生徒数の方が多いので、結果が見えてしまっているかと思います。お住いの区域の中学校が良いと皆さん回答されると思います。

☆令和5年の統合は決まっていますので、使用校舎をどちらかに決めなくてはいけないということは大前提です。校舎を決める際に、こちらがこうで、あちらがこうでという話になってしまうと遺恨として残ってしまうのではないかと思います。単純に私の意見を述べると、校舎の形がシンプルで、校庭が広いということで、上白根中学校とお答えさせていただきます。

☆統合校の使用校舎に関しては、生徒数が少ないとか、多いとかではなく、位置を考えると旭北中となるのはやむを得ないというのが私の考えです。また、両校の校長先生から校舎のことを聞きまして、やはり少し余裕があるのは旭北中なのかなと思います。ただ、検討部会に寄せられた意見を聞いた時に、小さい学校が大きい学校に統合されたというそういう感触を皆さんが持たれることは良くないと思うので、情報提供がすごく大事だと思います。なんでこうなったのか、どうしてこう決まったかを丁寧に情報発信していく必要があると思います。

☆統合校の使用校舎について、各委員から両方の意見が出ました。そこで、何を基準に校舎を決めていくかについて事務局からの提案を聞き、それを対して御意見があったら言っていただくという形で進めていきたいと思っています。

⇒事務局の案としましては旭北中を使用した方が良いと思っております。その理由は大きく三点あります。まず、1点目として両校の通学区域を合わせると旭北中がちょうど真ん中にあることです。子ども達が、毎日通いやすく、また、地域の方々にも学校に来ていただいて、これから統合校を支えていただくこと考えると、真ん中に位置するのが良いと考えます。2点目としては、両校長からもお話のあったとおり、施設的な余裕があることです。校庭で行う授業もありますが、教室など施設内で行う授業が圧倒的に多いことを考えると、改修により教室を増やす余地が多くあり、また武道場があることを考慮する必要があります。3点目は、バリアフリーの観点から旭北中にはスロープがあることです。以上、事務局から皆さんの意見を基に考えを示させていただきました。

☆事務局から統合校の使用校舎は、旭北中が良いのではないかと案が示されました。この案について、御意見がなければ、そのように決めたいと思いますがいかがでしょうか。

☆特に意見も無いようなので、統合校の使用校舎は旭北中とします。通学区域については、旭北中と上白根中の通学区域を合わせたものとして、緑区三保町に設定されている特別調整通学区域は、そのまま統合校でも継続するというので進めていきたいと思っております。

☆お伺いしたいのですが、統合校は旭北中を使うことが決まりましたが、統合校ではどんな部活があつてという話は、いつ頃に周知できるのですか。統合校が出来てからではないと決められないことなのでしょうか。

⇒学校や顧問の先生の状態もあると思っておりますので、そういったものを勘案して、今後、両校の校長で決めていただくこととなります。事務局としても、保護者の方が不安にならないように両校の校長と相談しながら、できるだけ早めに決められるものがあれば御案内したいと思っております。

☆旭北中の校舎を使うことに決まりましたが、上白根中は今後どうなるのでしょうか。また、グラウンドは上白根中の方が広いが、サッカーなどの部活も旭北中だけでやるのですか。

⇒上白根中の後利用については、統合後に地域のニーズを把握しながら検討していくことになると思っております。また、上白根中のグラウンドを第2グラウンドとして使用できないかとの意見は、以前の部会でも出ておりますので事務局も承知しております。次回の検討部会で意見書の内容について検討しますが、上白根中のグラウンドに関する文言を盛り込んだ形で御提案したいと考えています

(学校名案の選定方法について、事務局から説明しました。)

☆学校名案を決めるのに公募方式か、それとも部会検討方式か、皆さんの御意見を伺いたいと思っております。

☆今回来ました意見にもあるように、部会で決めるというよりも地域も含めた公募が良いと思っております。それは、地域の皆さんが分かる進め方になるのではないかと考えます。また、鶴ヶ峯中学、今宿中学、旭北中の三校が白根小の学区なので公募にさせていただく方が意識を持っていただいて、どのように部会を進めているのか、単純にやっているのではないということが伝わるのではないかと考えます。

☆私も公募方式の方が良いと思っております。四季の森小のときも、地域を含めて意見を聞きました。すると、自分たちも決めた学校名なんだという意識を持ってもらえたようでよかったです。

☆せっかくの統合を楽しんでいただければと思うので、地域の方も含めた公募が良いと思っております。

☆それでは、小学校、中学校、地域を対象とした公募方式として、事務局は次回の部会までに公募結果をまとめるようにお願いします。

◆第7回検討部会について ※会議は、非公開とすることを決定しました。

日時：令和2年12月23日(水) 19時00分から 会場：ひかりが丘地域ケアプラザ

◆「旭北中学校・上白根中学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の経過等について

検討部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからご覧になれます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/tekiseika/shokibo/kamisirane.html>

◆事務局(お問い合わせ先)

皆さまからの御意見や御質問を受け付けております。Eメール、FAX又は電話でお寄せください。

横浜市教育委員会事務局 学校計画課

Eメール：ky-asahi2019@city.yokohama.jp FAX：045-651-1417 電話：045-671-3252

